

目次

1. 尿路上皮がん 進行再発 GC療法（767023）	2
2. 尿路上皮がん 進行再発 M-VAC療法（767013）	3
3. 尿路上皮がん 進行再発 ペムブロリズマブ療法 [3週毎]（767001）	4
4. 尿路上皮がん 進行再発 ペムブロリズマブ療法 [6週毎]（767002）	4

初版 2020年12月04日

第2版 2021年3月27日

作成 羽生総合病院 外来化学療法センター/薬剤科

1. 尿路上皮がん 進行再発 GC療法 (767023)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
シスプラチン	CDDP	70mg/m ²	点滴静注	90分	Day2	遮光して投与
ゲムシタビン	GEM	1,000mg/m ²	点滴静注	30分	Day1,8,15	

■ 1コース期間：28日毎、総コース数：6コース

■ 参考文献：J Clin Oncol 18(17):3068-77(2000).

■ 催吐リスク：高

■ 発熱性好中球減少リスク：低

■ 血管への影響：CDDP：炎症性抗がん剤、GEM：炎症性抗がん剤

■ 主な有害事象

- ・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害、末梢神経障害、電解質異常（特に低Mg血症が特徴的）
- ・ GEM：白血球減少、好中球減少、貧血、血小板減少、食欲不振、悪心・嘔吐、倦怠感、発熱、皮疹、間質性肺疾患

■ 減量基準

	CDDP	GEM
1段階減量	60mg/m ²	800mg/m ²
2段階減量	40mg/m ²	600mg/m ²

■ 腎機能によるシスプラチンの減量基準

Ccr 45-60mL/min	75%に減量
Ccr 30-45mL/min	50%に減量
Ccr <30mL/min	中止

2. 尿路上皮がん 進行再発 M-VAC 療法 (767013)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
メトトレキサート	MTX	30mg/m ²	点滴静注	30分	Day1,15,22	
ビンブラスチン	VLB	3mg/m ²	点滴静注	5分	Day2,15,22	
アドリアシン	ADM	30mg/m ²	点滴静注	5分	Day2	
シスプラチン	CDDP	70mg/m ²	点滴静注	90分	Day2	遮光して投与

■ 1コース期間：28日毎、総コース数：2-6コース

■ 参考文献：J Clin Oncol 18(17):3068-77(2000).

■ 催吐リスク：高

■ 発熱性好中球減少リスク：高

■ 血管への影響：VLB：起壊死性、CDDP：炎症性、ADM：起壊死性、MTX：非壊死性

■ 主な有害事象

- ・ MTX：骨髄抑制、悪心、嘔吐、口内炎、脱毛、肝機能障害、高用量で腎障害、神経障害
- ・ VLB：イレウス、消化管出血、食欲不振、口渇、口内炎、腹痛、便秘、脱毛、皮膚水疱、深部腱反射消失
- ・ ADM：骨髄抑制、悪心、嘔吐、食欲不振、口内炎、脱毛、心毒性(不可逆性蓄積毒性)
- ・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害、末梢神経障害、電解質異常(特に低Mg血症が特徴的)

■ 減量基準

	MTX	VLB	ADM	CDDP
1段階減量	22.5mg/m ²	2mg/m ²	22.5mg/m ²	50mg/m ²
2段階減量	15mg/m ²	1.5mg/m ²	15mg/m ²	35mg/m ²
3段階減量	減量規程なし	減量規程なし	7.5mg/m ²	減量規程なし

■ 腎機能によるシスプラチンの減量基準

Ccr 45-60mL/min	75%に減量
Ccr 30-45mL/min	50%に減量
Ccr <30mL/min	中止

■ 肝機能によるアドリアシンの減量基準

T-Bil 1.2~3.0mg/dL	50%
T-Bil 3.1~5.0mg/dL	25%
T-Bil > 5.0mg/dL、または Child-Pugh 分類 C	中止

3. 尿路上皮がん 進行再発 ペムブロリズマブ療法 [3 週毎] (767001)

薬品名	略語	1 日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
キイトルーダ® (ペムブロリズマブ)		200mg	点滴静注	30 分	Day1	フィルター投与

- 1 コース期間 : 21 日毎、総コース数 : 35 コースもしくは PD まで
- 参考文献 : N Engl J Med 376:1015-26(2017).

4. 尿路上皮がん 進行再発 ペムブロリズマブ療法 [6 週毎] (767002)

薬品名	略語	1 日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
キイトルーダ® (ペムブロリズマブ)		400mg	点滴静注	30 分	Day1	フィルター投与

- 1 コース期間 : 42 日毎 (6 週毎)、総コース数 : は PD まで

■ 催吐リスク : 最小

■ 発熱性好中球減少リスク : 低

■ 血管への影響 : ペムブロリズマブ : 不明

■ 注意すべき副作用

- ・ ペムブロリズマブ : 下痢、疲労、発熱、悪心、そう痒症、発疹、間質性肺疾患、神経障害、肝機能障害、甲状腺機能障害、下垂体機能障害、1 型糖尿病、腎機能障害、膵炎、筋炎・横紋筋融解症、インフュージョンリアクション

■ 減量基準

	ペムブロリズマブ
1 段階減量	減量規程なし